

# 平成30年7月 西日本豪雨災害における当院の活動報告 ～災害から一年を経て～

診療部長 森田 悟



平成30年7月6日の西日本を襲った記録的な大雨で広島県内は、死者109名、行方不明者5名、当医療圏においては東広島市、竹原市を含めて死者16名、行方不明者1名を数え、土砂災害、洪水などにより土地、建物、鉄道、道路破壊などの甚大な被害を被った。

※H24.3-広島県指定 災害拠点病院18のうち  
中央二次医療圏唯一の地域災害拠点病院

※東広島/竹原/大崎上島 22万人797km<sup>2</sup>

大学(広大・近大・国廣)、市役所 事  
業所(マイクロンメモリ・シャープ)  
商業施設(ゆめタウン・フジグラン)  
交通機関(山陽線、新幹線、広島空港)  
イベント(酒祭り、運動公園)



当院は、東広島市、竹原市を含む広島中央二次医療圏の唯一の災害拠点病院であり、DMAT 2隊とヘリポートを備えている。災害時には、地域の災害医療の中心的な役割を担う必要がある。具体的には、災害の情報収集、県や地域と情報共有、患者の受け入れ、地域医療機関の活動支援、時には他の医療圏への医療支援にあたらなければならない。災害の発生は予期できないものであり、また、その規模、災害の種類、その時の当院の被災状況などが複雑に絡み合ってくるので、どのように対処すべきかは、その時々で臨機応変に考えていかなければならない。西日本豪雨災害における当院での活動を報告し、今後起こりうる災害に適切に対処できるための一助となることを期待する。



平成30年7月6日の昼過ぎから、マスコミを通じて豪雨による被災状況を伝えるニュースが入り始めていた。この時点ではDMAT派遣要請はなかったが、装備の確認、出動のための装備のバックアップなどの準備をはじめた。17:50には、東広島市に大雨特別警報、洪水警報が発令され、22時には県庁にDMAT本部が立ち上がり、その時点で被害が大きい海田町に派遣要請が下った。

当院としては、23時には2隊のDMATメンバーを病院に集合し、まず情報収集を行った。災害当日は当院が救急当番病院であったことなどもあり、救急外来には多数の患者が搬入されており、明らかに災害関係の患者さんも散見されていた。この時点で、骨折の緊急手術が入っており、他2名の骨折患者を域外に転送していた。東広島消防局、患者を搬送してきた救急隊からの情報収集し、今後多数の患者が運ばれてくるであろうこと、交通網の遮断により当地区は孤立した状態になっていることが明らかになり、当院としては病院内を災害レベルI(病院内の救急部門での対応能力を超える患者が予想され、対外対策本部を立ち上げる必要がある状態で、病院職員の招集するレベル)とし、救急患者の受け入れ態勢を整えることとした。

院内には、院長をトップに災害対策本部を立ち上げ、DMATを中心に、翌朝まで急患患者対応にあたるとともに、広島県庁対策本部、地域の災害対策本部、消防局、救急隊、保健所、医師会などと連絡を取り、情報収集と共有にあたった。

7月7日には、雨もやみ、救急患者の搬入状況も落ち着いていたので、東広島対策本部と協議の上、当日の救急当番病院(本永病院)に救急業務を移行したが、災害関連の患者は病院としては受ける事とした。DMAT隊は交代制で、本部機能を維持し、防災ヘリでレスキューされた患者の受け入れ業務を行った。

夜明けとともに広島県内の甚大な被災状況が明らかとなり、県庁のDMAT調節本部より当院は広島中央医療圏のDMAT活動拠点病院に指定され、地域の病院の被災状況の確認とEMIS上の報告業務にあたった。

7月8日には、災害自体が広域災害(県外にDMAT派遣依頼するほどの災害規模)に指定され、当院は県外DMATの参集、活動拠点病院に指定された(県内に4病院)。DMATに課せられて任務は圏域の避難所の状況確認と医療ニーズの把握であり、4～5隊派遣されることになった。当院としては、(派遣されるDMAT隊が当地域の情報は持ち合わせていないことを考慮し)受け入れにあたり、以下のように準備した。

- ①避難所のリストアップ:東広島 竹原 大崎上島  
各対策本部の保健師さんたちと連絡を取り 開設されている避難場所と、人数を調査し地図上にリストアップし、区域別に4つにわけて、担当DMATを派遣することとした。
- ②交通状況の確認  
各対策本部に道路状況の現状をFaxしてもらい 消防局に連絡して、消防隊の持っている道路状況を調査
- ③保健師さんの派遣依頼  
集合するDMATに随伴していただくことで、保健師さんの情報、住民との信頼関係を利用させていただくとともに交通情報にも詳しくDMAT活動が潤滑になされることを期待。

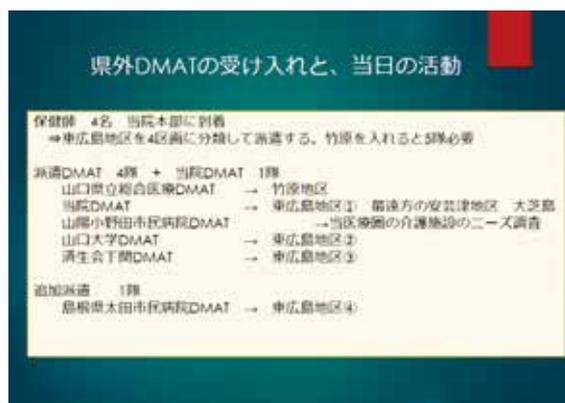
7月9日の朝には東広島保健所から4人の保健師さんに当院本部に集合していただき、避難所の現状を聴取し、東広島地区を4区域に分けて派遣DMATに同行していただくように説明した。竹原地区とは交通が分断されていたので、1隊は直接竹原市に赴いていただくことにしたため、竹原市の対策本部と連絡を取り、DMATとの待ち合わせの場所と時間の調節を行った。当院には4隊のDMATを受け入れて、到着していただいた順番に、遠方のエリアに向かっていただいた。派遣に際し、各隊には当院薬剤部で用意した災害時の簡易処方パックを持参していただいた。

18時には派遣した各隊と保健師さんも交えて反省会を行ったが、DMAT各隊からは保健師さんを同伴することでスムーズに活動ができ、逆に保健師さんからも、医師が同伴していることで避難住民からの忌憚ない意見が引き出せたという相乗効果があったようである。

7月10日には、県対策本部より解散指令があり当院の災害モードを解除した。

以上が当院での活動の内容になりますが、以下に時系列での活動記録を添付いたします。記載できていませんが、土日の休みにもかかわらず病院内の職員の多大なる協力により、円滑に活動ができていたということに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

尚、上記内容は昨年(2014年)の10月に県庁で行われた西日本豪雨災害の活動検証会に発表いたしました。



## 広島県豪雨災害の記録

### 始動

- 7月6日 豪雨災害のニュースが飛び交っている。
- 14:05 県内に土砂災害警戒警報、広島市大雨特別警報、洪水警報
  - 15:36 広島県医療介護計画課よりメール、EMIS上警戒モードとなる

当院DMAT隊はすぐには、EMIS上に派遣待機の登録はしていなかったが、いつでも出動できるように、機材の準備、着替えの準備、出動できる隊のメンバー編成をしておく。その後、EMISを確認すると、県内のDMAT数隊が登録していた。→登録

- 16:40 安芸高田、安芸太田、庄原、北広島大雨特別警報発令
- 17:50 東広島市 大雨特別警報、洪水警報
- 22:05 県庁DMAT本部立ち上げ
- 22:16 県庁DMAT本部より待機依頼
- 22:44 県庁DMAT本部より出動依頼

広島市内、呉市内のDMATは、広島市安芸消防署(安芸郡海田町堀川町3番12号)に参集してください。県立広島病院のDMATが参集拠点の立上げに向かっています。との連絡。  
広島県 健康福祉局 医療介護計画課

- 23:15 DMATメンバー集合(医師2名、Ns 4名、ロジ2名:2チーム)

### 病院を災害レベルI体制に…

- 23:23 東広島消防局に情報収集  
災害による連絡が消防にひきりなしに入っており手が負えない状態  
土砂災害があり少なくとも2～3人は生き埋めになっている
- 23:40 県庁災害対策本部 災害拠点病院に対して受け入れ可能人数確認  
赤3黄5緑5と返答した。

次ページへ続く→

→前ページから続く

東広島の被災状況も明らかになり、急患患者さんの中にも災害関係の患者さんも散見されるようになっていた。この時点で骨折の手術が入っていた。

周辺の交通状況は、当院から広島方面に帰る職員が、帰宅困難な状態で、この時点でも、病院からそれほど離れていない国道沿いで立ち往生している。

23:45 当院の東広島中央医療圏の中での機能として(返答した人数より)多くの傷病者の受け入れの可能性があり、通常の救急当番体制では乗り切れないと考えられ、人員召集の必要性ありと判断して、災害レベル1の体制で臨むことを院長に進言し、了承を得る。

23:50 仮本部より救急外来に災害レベル1で対応し、救急患者は断らないことを基本とする旨伝達。救急外来に現場指揮所設置

TV 福富ダム氾濫発生

:51 各病棟の空床状況を確認 ICU患者の転出を指示

:52 ブース設定(現場指揮、赤、救急外来:黄、点滴室:緑 救急受付)

:55 応接室に本部設置

7月7日

0:00 病院内災害対策本部正式立ち上げ

0:09 当院→県本部

県庁対策本部に以下のこと連絡し了解を得る

- ・当院は傷病者多数にて災害レベル1としたこと
- ・当院の受け入れ態勢を整える必要があり、マンパワーが必要である。
- ・当院からの出動は交通事情からしても派遣は難しい

以上より

DMATは当院に残り、当院の医療ニーズに対応する。

院内のマンパワー 救急当番で雨のため帰宅困難となったDr、看護師

- ・院長 統括診療部長 DMAT(医師2、看護師6、薬剤師2、事務1)
- ・副看護師長2 外来当直看護師 師長等
- ・当直Dr3、研修医4、耳鼻科2 整形外科2 放射線科技師 薬剤師

0:30 現場指揮所→本部 赤2 黄2 緑3受け入れた。

0:55 EMIS:三原市内で河川の氾濫

1:08 本部→東広島消防にTel 情報収集

レスキュー多数出動、崖崩れ、冠水、水没連絡 約100件 行方不明情報もあり

1:55 患者搬送した救急隊より情報収集

375線通行止め 東広島一呉道路 通行止め

2:45 本部→東広島消防にTel 情報収集

東広島消防は現状を把握するため情報収集中

3:00 東広島市役所災害対策本部危機管理課 対策本部統括(細谷さん)→本部

レスキュー活動も落ち着き、救急の連絡も落ち着いた(新たな被災情報はない?)

5:32 広島県対策本部(健康福祉局医療介護計画課)より問い合わせ

現時点での当院が受け入れた患者の詳細報告

7:46 本部→東広島市役所災害対策本部

救急当番は本永病院になるが、当院の体制は解除可能かの問い合わせを行った

7:54 東広島市役所災害対策本部危機管理課 対策本部統括(渡辺さん)→本部

8:30で患者受け入れは本永病院に変更することは可能の返事を受ける 当院は、通常業務とする。

8:30 通常業務移行。

しかし災害関連の患者は病院としては受ける事とした。

DMAT隊は交代制で、院内災害対策本部機能を維持する。

9:00 東広島市役所災害対策本部にDMAT派遣 情報収集

道路情報、被災状況、通報情報を収集

当院は通常業務としたが、災害関係のものは基本的に断らない旨、伝達。

## 院内通常モードでの活動

7月7日

13:00 防災ヘリ竹原より本部

15名 5名×3回の受け入れ要請→承諾

13:05 DMAT 再招集

13:23 大人2名、子供2名(救助被災者)受け入れ

13:30 防災ヘリ→本部 搬送予定 15名から4名に変更の旨 連絡

## 広島中央医療圏のDMAT活動拠点の指定

19:09 県調節本部→本部 当院に広島中央医療圏のDMAT活動拠点本部設置依頼

19:30 院長報告 DMAT活動拠点本部設置。近

- 況の病院状況の確認とEMIS登録  
連絡が取れない病院に対する情報収集
- 20:30 市役所対策本部に連絡し、交通状況の確認
- 21:22 山形循環器内科(黒瀬町)病院被災状況確認
- 21:36 賀茂精神医療センター(黒瀬町)病院被災状況の確認
- 21:37 東広島市役所対策本部(総務部危機管理課 徳富)→本部  
メール:安芸津への道路情報図の送信を受ける
- 21:45 市役所対策本部にDMAT一隊派遣して情報収集  
東広島医療圏の被災状況、交通事情、避難所の開設と避難者数などの情報収集
- 23:07 寺本医院(大崎上島)情報収集  
断水の可能性があったが、特に問題なかったとのこと
- 23:28 本部→県調整本部 広島中央医療圏の被災状況報告(EMISへも入力)
- 23:39 県庁性本部→本部 本日解散 明日8時より活動再開命令

## 7月8日

- 0:08 本部→東広島市役所 当院本部は一時解散し明日活動再開の旨報告  
東広島市役所→本部 了解 消防には市役所から連絡するとの返事
- 7:40 DMAT 本部に集合 情報収集開始
- 8:36 県調整本部→本部  
避難所リストアップ 保健師と連絡して医療ニーズの把握するよう指示
- 8:42 本部→東広島市役所本部(健康増進課)  
避難所リストの更新情報をFaxで送っていただくように要請。  
医療ニーズは無し
- 10:15 本部→県調整本部 避難所のFax送信
- 12:06 本部→県調整本部 医療ニーズ、食料ニーズ無しを報告
- 12:08 県調整本部→本部 7/8以降の当院DMATの出動の可否の問い合わせあり  
7/8のみ可能であると返答

## DMAT 参集拠点病院の指定

(他県にDMAT派遣を依頼した段階で、他県からのDMATが集合する病院が指定)

- 12:31 県調整本部→本部 7医療圏の本部を4に減らし当院は当医療圏の本部指定
- 13:01 東広島市対策本部→本部 避難所の患者の投薬不足
- 13:15 竹原避難所(避難中の当院Ns)→本部

在宅点滴を行っている当院通院患者A様が避難所におり、たまたま、当院看護師が避難所にいるとのことで、点滴付け替えをしてよいかの問い合わせ→了承

13:44 厚生労働省DMAT事務局より  
広島県よりDMAT派遣を要請がありました

1. 派遣要請都道府県:山口県・島根県・福岡県のDMATの派遣を要請いたします。
2. 以下の活動拠点本部に参集してください。  
山口県・島根内DMAT→  
福山市民病院DMAT参集拠点(福山市民病院内/福山・尾三圏域を含む)  
福岡県DMAT→  
県立広島病院DMAT参集拠点(県立広島病院内/広島市圏域を含む)

14:14 本部→竹原市役所 A様の報告と、入院希望あり当院への受け入れ承諾を説明

14:55 県庁DMAT調整本部 広島県医療介護計画課より

7/6(金)からの大雨・土砂災害に係って、出動できるDMATはEMISに登録し、出動をお願いします。

15:45 竹原市よりA様へり搬送。

15:58 県庁DMAT調整本部 広島県医療介護計画課より

7/6(金)からの大雨・土砂災害に係るDMAT出動をお願いします。

今後の活動は避難所活動が中心となります。

下記4参集拠点のうち、最寄りの拠点に参集してください。

(参集拠点1)福山市民病院

(参集拠点2)東広島医療センター

(参集拠点3)中国労災病院

(参集拠点4)県立広島病院

16:10 東広島市役所対策本部→Fax 本部 対策本部会議内容のメールを受信

17:22 在宅酸素不足の患者へり搬送される

17:34 福山市民病院→本部 明日域外のDMAT4隊を当院に派遣する旨報告

避難所のリストアップ 東広島 竹原 大崎上島  
各対策本部の保健師さんたちと連絡を取り保健師さんの持っている情報提供していただく避難場所と、人数を調査し地図上にリストアップし、区域別に4つにわけて、担当DMATを派遣することとした。

次ページへ続く→

→前ページから続く

#### 交通状況の確認

各対策本部に道路状況の現状をFaxしてもらう  
消防局に連絡して、消防隊の持っている道路状況  
を調査

保健師さんの派遣依頼 集合するDMATに随伴  
していただけるため

保健師さんの情報、住民との信頼関係を利用  
させていただくとともに交通情報にも詳しく  
DMAT活動に同伴していただくことを依頼

- 17:41 東広島市対策本部 社会福祉課→本部  
19:00の会議が終了次第 避難所リスト  
を報告することと 現状報告  
明日 保健師さんたちに東広島医療セン  
ターに集合してもらうように手配した
- 18:27 県庁DMAT調整本部 広島県医療介護  
計画課 より  
広島県へのDMAT派遣方針については  
下記のとおりになります。
- ・福岡県 10～12チーム程度 県立広島  
病院DMAT参集拠点へ参集し、広島  
圏域と呉圏域にて活動
  - ・島根県 4～6チーム程度 福山市民病  
院DMAT参集拠点へ参集し、尾三  
圏域と福山圏域にて活動
  - ・山口県 6～8チーム程度 福山市民  
病院DMAT参集拠点へ参集し、尾三  
圏域と福山圏域にて活動
- それぞれの参集場所へ、7月9日 8時を  
目途に参集してください
- 19:24 本部→竹原市対策本部 避難所リストと  
医療ニーズの情報依頼
- 19:31 本部→大崎上島役場 避難所1か所(男  
1、女2)
- 21:00 竹原市対策本部→本部 避難所リスト  
と避難者数 医療ニーズの報告(FAX)
- 21:21 東広島対策本部→本部 避難所リスト  
と避難者数 医療ニーズの報告(Mail)
- 22:20 避難所マッピング完成
- 22:25 本部→竹原消防 竹原へのアクセ  
スルートの確認

### 県外DMATの参集、派遣

7月9日

- 7:30 本部にDMAT参集
- 7:37 本部→竹原消防 竹原の道路状況 竹原市  
へのアクセスルート 再確認
- 7:57 本部→安芸津消防 安芸津の道路状況 ア  
クセスルートの確認
- 8:05 本部→東広島市役所健康増進課 保健師  
の手配の確認
- 8:10 本部→福山本部 現状報告と福山から発

見される4隊のうち1隊は直接竹原市  
の災害対策本部に派遣していただくよ  
うに連絡。当方の連絡先と派遣DMAT  
の連絡方法を聴取。竹原対策本部の連  
絡方法も伝える。

- 8:27 東広島市役所→本部 保健師4名確保  
の報告
- 8:30 本部ミーティング  
参集DMATは4隊  
1隊は直接竹原の対策本部に派遣し、そ  
ちらで保健師と合流してもらう。  
保健師は4名確保し当院の本部に参集  
していただく  
保健師の皆さんに東広島市を避難所の  
地域ごとに区分けしてもらう  
DMATの到着次第順次、保健師に同乗  
してもらって派遣
- 8:35 東広島市役所→本部  
保健師4名派遣する 報告
- 8:59 福山DMAT本部→本部  
①山口県立総合医療DMAT 竹原に派遣
- 9:23 本部→西部東保健所 現在の当院の活  
動内容を報告
- 9:40 本部→竹原市役所 ①隊が竹原に移動中  
であることを報告  
竹原の保健師さんとランデブーして、  
一緒に活動してほしい旨依頼
- 9:46 保健師4名到着 管轄医療圏を4つに分  
けて保健師を割り当てる  
したがって、  
竹原地区 1  
東広島地区 4  
計5区域にDMAT派遣  
当院には3隊派遣の予定であるので、  
当院DMATを1隊任務に充てる。
- 9:47 福山DMAT本部→本部  
②山陽小野田市民DMAT 当院に向け派  
遣
- 9:50 本部→竹原保健センター  
DMAT派遣して移動中であることを報告。  
必要な情報をリストアップしていただ  
くように依頼
- 10:07 本部→①隊  
竹原保健センターに向かっていくよう  
に指示。保健師が待機している。  
合流して、竹原の避難所を回って情報  
収集を依頼
- 10:25 本部→東広島市役所 安芸津、大芝島  
の交通事情収集
- 10:35 ②当院DMATを最も遠方の医療区域  
(安芸津、大芝島)にまず派遣する。
- 10:37 本部→県調整本部 当院DMAT 1隊を安

- 芸津、大芝島に派遣した。  
 当院に派遣されるDMATは何隊か再度確認
- 10:42 県調整本部→本部 派遣DMATは4隊  
 1隊は竹原に直接3隊が当院に派遣
- 11:14 ③山口大学DMAT 到着 高速道路経由で到着  
 高速道路は緊急車両は通行できるようになっていることを初めて認知
- 11:16 院長→輸血部 山陽自動車道 緊急車両のみ通行可能
- 11:24 ②隊(当院DMAT)安芸津、大芝島方面に出動
- 11:26 福山DMAT本部→本部 DMAT1隊 追加派遣する旨報告あり  
 本部→福山DMAT本部 高速道路経由での移動が可能であること報告
- 11:32 本部→県調整本部  
 高速道路が通行可能であることをEMISにも挙げるように要請した。
- 11:33 ④済生会下関DMAT 到着
- 11:53 本部→県調整本部  
 避難所に派遣されたDMATが処方した薬剤の扱いに対する問い合わせ
- 12:00 ③、④隊 出動 当院の処方薬剤のバック詰めを持参してもらう。
- 12:04 ①隊竹原に到着、保健師と合流
- 12:57 ⑤島根県大田市立病院DMAT 到着
- 13:16 ⑤隊 出動

- 13:44 本部→竹原市役所 ①隊は、竹原市役所で会議に参加している。
- 13:53 ②隊 到着 高速は使用せず下の道に来ていて遅くなった。
- 14:38 本部→保健所 介護施設の医療ニーズの問い合わせ 把握していない
- 14:42 本部→東広島市役所対策本部 同様に把握していない
- 15:17 ②隊に対して 当医療圏の介護施設の医療ニーズ調査を依頼
- 15:36 ⑤隊 帰還
- 17:56 ①隊 竹原の活動は終了しEMISに登録済。18:06宿泊先(福山)に帰還
- 18:15 すべての派遣隊が帰還した  
 本日のミーティング開始した。
- 21:56 本部→県調整本部 活動入力シートに記入して本日の活動は終了

#### 7月10日

- 8:42 当院に参集したDMAT4隊とともに朝のミーティング 待機
- 9:15 県調整本部→本部 12時に解散予定 12時までは待機命令
- 9:18 福山に待機している①隊に報告
- 11:34 県調整本部→本部 12時に解散決定
- 11:39 ①隊に解散伝達
- 11:50 東広島市役所対策本部 上記報告
- 12:03 竹原市役所 上記報告

